

平成23年社会生活基本調査結果(生活行動編)の概要

◇富山県分◇

● 社会生活基本調査とは

(1) 調査目的

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施している。

(2) 調査対象

全国の世帯から無作為に選定した約8万3千世帯及びその世帯にふだん住んでいる10歳以上の世帯員で、富山県では約1,500世帯及びその世帯にふだん住んでいる10歳以上の世帯員を対象とした。

(3) 調査時期

平成23年10月20日現在で実施した。

● 生活行動に関する結果(生活行動編)

自由時間等における過去1年間の主な活動

- 1 学習・自己啓発・訓練
- 2 ボランティア活動
- 3 スポーツ
- 4 趣味・娯楽
- 5 旅行・行楽

<用語の解説>

行動者数 …… 過去1年間に該当する種類の活動(上記1～5)を行った人(10歳以上)の数

(※富山県の10歳以上の推定人口は、967千人)

行動者率 …… 行動者数の10歳以上人口に占める割合(%)

※ この結果は、総務省統計局が公表した結果の抜粋です。詳しい結果内容や全国の結果につきましては、総務省統計局 HP 社会生活基本調査のページをご覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/index.htm>

1 学習・自己啓発・訓練

○行動者数は 305 千人、行動者率は 31.5%(全国 35.2%)

行動者率は、平成 18 年(30.1%)と比較して、1.4 ポイント上昇している。年齢階級別にみると、10~14 歳、55 歳以上で上昇している。種類別にみると、「英語」が 1.9 ポイント上昇している(5.3%→7.2%)。

図1 年齢階級別「学習・自己啓発・訓練」の行動者率(平成18年、23年)

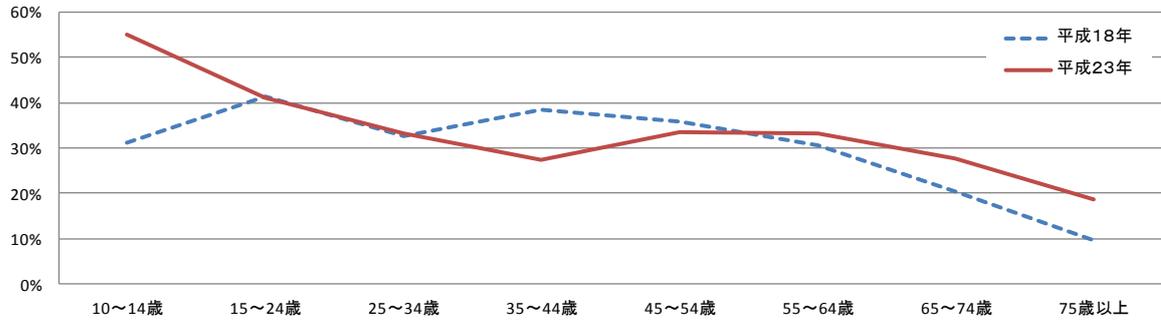
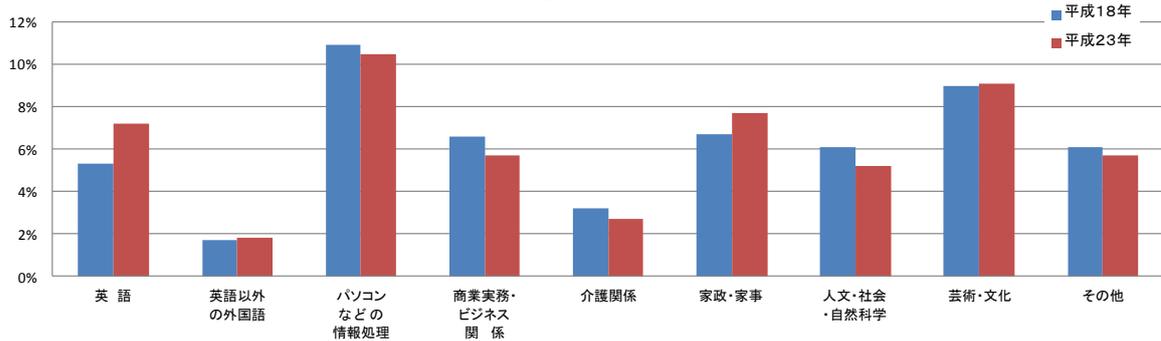
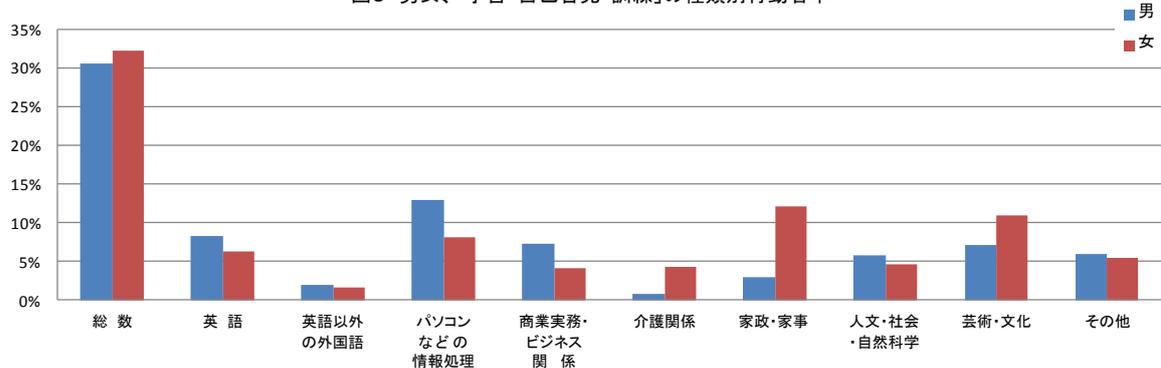


図2 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率(平成18年、23年)



○男女別に行動者率をみると、男性(30.6%)より女性(32.3%)のほうが 1.7 ポイント高くなっている。これを種類別でみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が 13.0%と最も高く、次いで「英語」が 8.3%、「商業実務・ビジネス関係」が 7.3%などとなっている。女性は「家政・家事」が 12.1%と最も高く、次いで「芸術・文化」が 10.9%、「パソコンなどの情報処理」が 8.2%などとなっている。

図3 男女、「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率



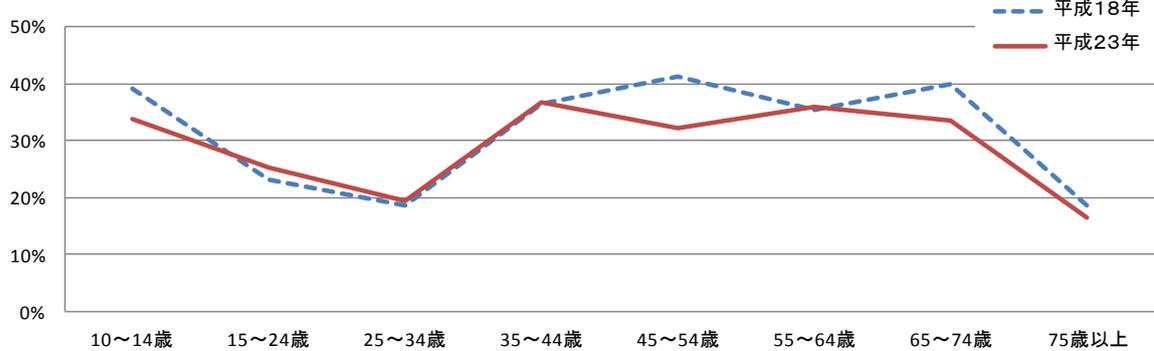
※「学習・研究」には、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業(授業、予習、復習)として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

2 ボランティア活動

○行動者数は 286 千人、行動者率は 29.6%(全国 26.3%)

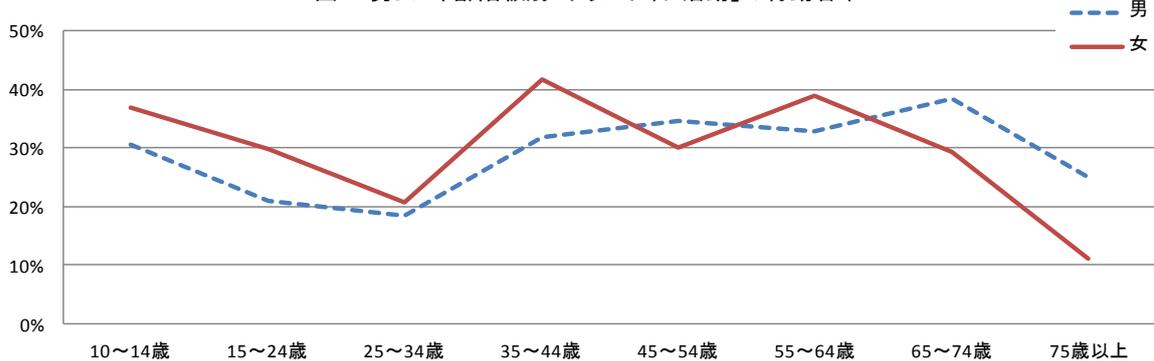
行動者率は、平成 18 年(31.5%)と比較して、1.9 ポイントの低下となっている。

図4 年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率(平成18年、23年)



○男女別に行動者率をみると、男性が 29.7%、女性が 29.5%(全国は男性 24.5%、女性 27.9%)と、全国と比較して、男女とも高い水準となっている。また、年齢階級別にみると、65 歳以上では男性が、45 歳未満では女性が高くなっている。

図5 男女・年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率



○種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が 15.3%と最も高く、次いで男性は「安全な生活のための活動」、「自然や環境を守るための活動」、女性は「子供を対象とした活動」、「安全な生活のための活動」などとなっている。

図6 男女、「ボランティア活動」の種類別行動者率

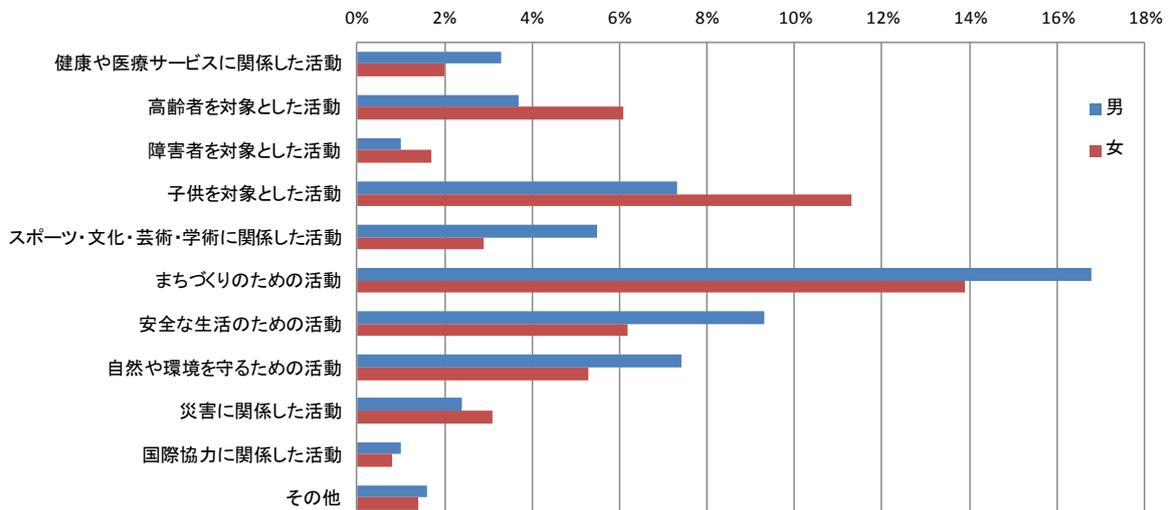


表1 ボランティア活動の種類別行動者率（平成18年、23年）

(%)

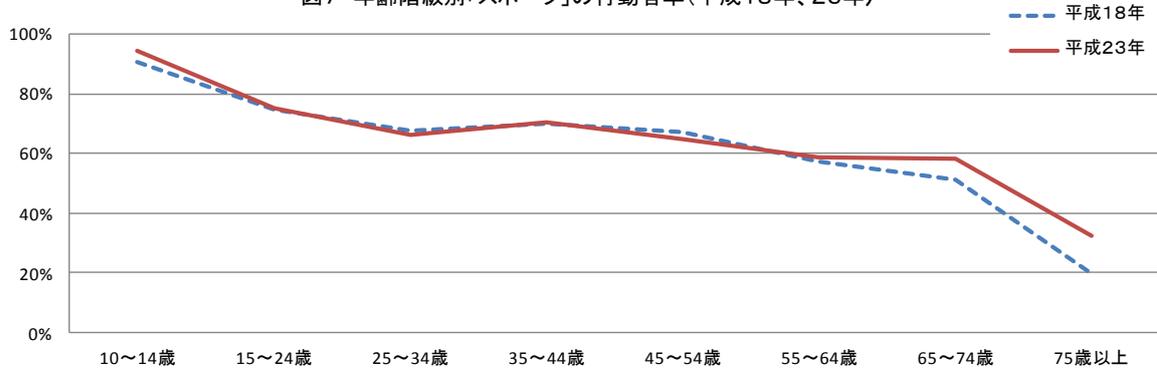
		総数	健康や医療サービスに関係した活動	高齢者を対象とした活動	障害者を対象とした活動	子供を対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	まちづくりのための活動	安全な生活のための活動	自然や環境を守るための活動	災害に関係した活動	国際協力に関係した活動	その他
富 山 県	平成18年	31.5	2.8	5.8	1.8	5.3	5.0	16.9	7.4	8.3	1.1	1.2	1.2
	平成23年	29.6	2.6	5.0	1.4	9.4	4.1	15.3	7.7	6.3	2.7	0.9	1.5
全 国	平成18年	26.2	3.0	4.4	2.0	5.6	4.2	12.0	5.5	6.5	1.2	1.5	1.9
	平成23年	26.3	2.9	3.7	1.4	8.2	3.5	10.9	4.8	4.7	3.8	1.0	1.8

3 スポーツ

○行動者数は 600 千人、行動者率は 62.0%(全国 63.0%)

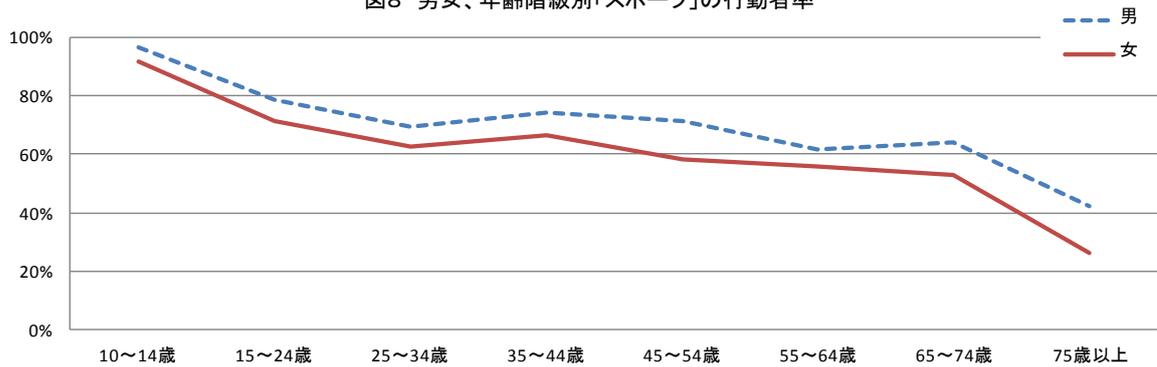
行動者率は、平成 18 年(60.3%)と比較して、1.7 ポイント上昇しており、25～34 歳と 45～54 歳を除くすべての年齢階級で上昇している。

図7 年齢階級別「スポーツ」の行動者率(平成18年、23年)



○男女別に行動者率をみると、男性が 67.9%、女性が 56.5%(全国は男性 67.9%、女性 58.3%)となっており、全ての年齢階級で、男性の方が女性より高くなっている。

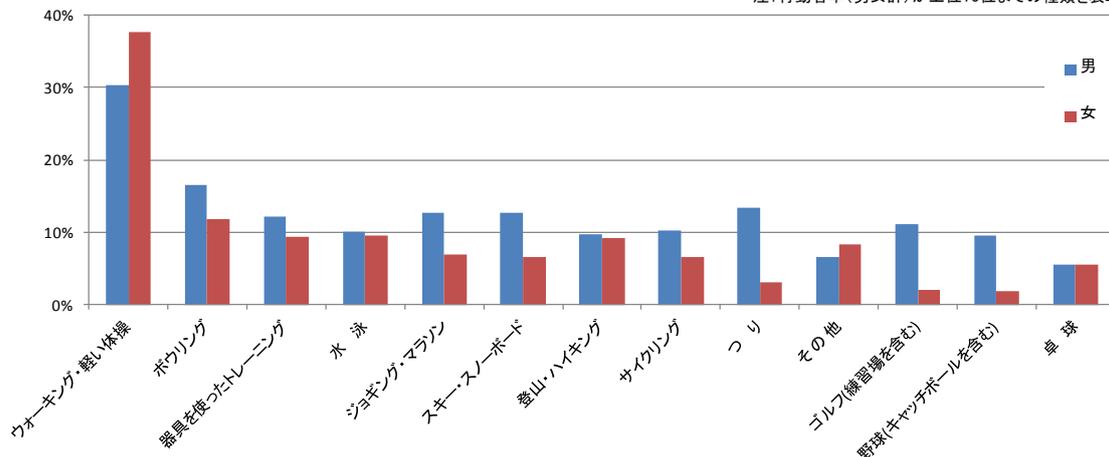
図8 男女、年齢階級別「スポーツ」の行動者率



○種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が 34.2%と最も高く、次いで「ボウリング」が 14.0%となっている。以下、男性は「つり」、女性は「水泳」などとなっている。

図9 男女、「スポーツ」の種類別行動者率

注:行動者率(男女計)が上位13位までの種類を表章



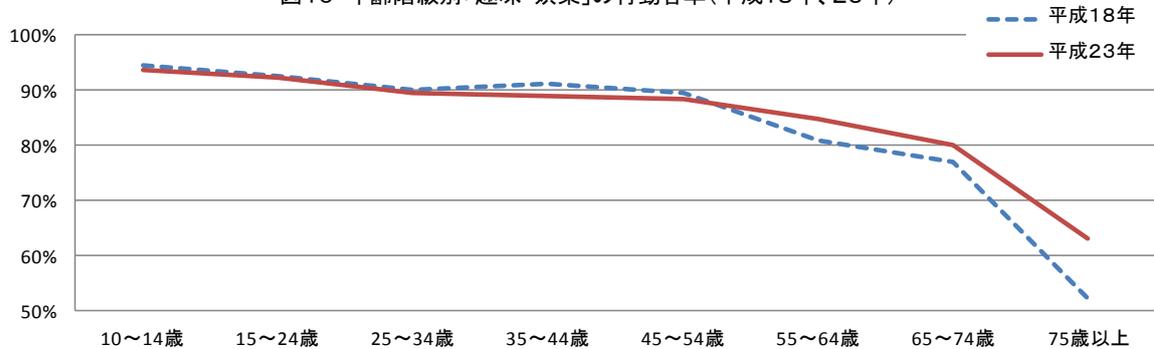
※「スポーツ」には、学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

4 趣味・娯楽

○行動者数は 813 千人、行動者率は 84.1%(全国 84.8%)

行動者率は、平成 18 年(82.8%)と比較して、1.3 ポイント上昇している。

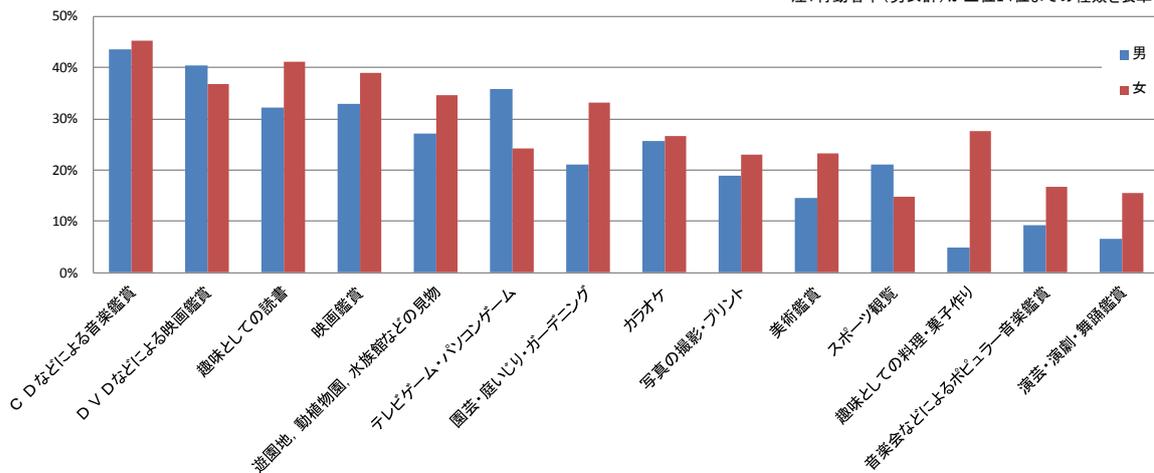
図10 年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率(平成18年、23年)



○種類別行動者率をみると、「CDなどによる音楽鑑賞」が 44.4%と最も高く、次いで「DVDなどによる映画鑑賞」が 38.5%、「趣味としての読書」が 36.9%などとなっている。

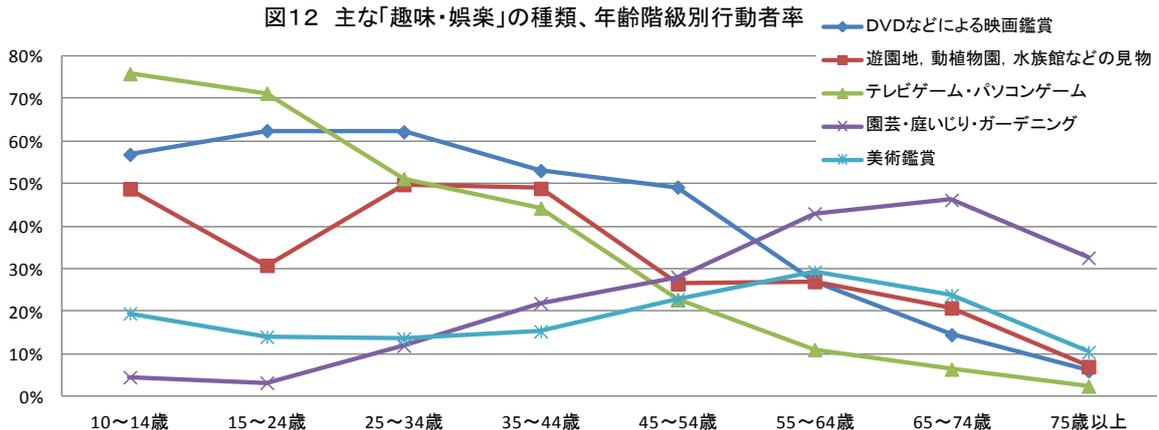
図11 男女、「趣味・娯楽」の種類別行動者率

注：行動者率(男女計)が上位14位までの種類を表章



○主な種類別行動者率を年齢階級別にみると、「テレビゲーム、パソコンゲーム」などは、低年齢階級で高く、「園芸・庭いじり・ガーデニング」などは、高年齢階級で高くなっている。

図12 主な「趣味・娯楽」の種類、年齢階級別行動者率

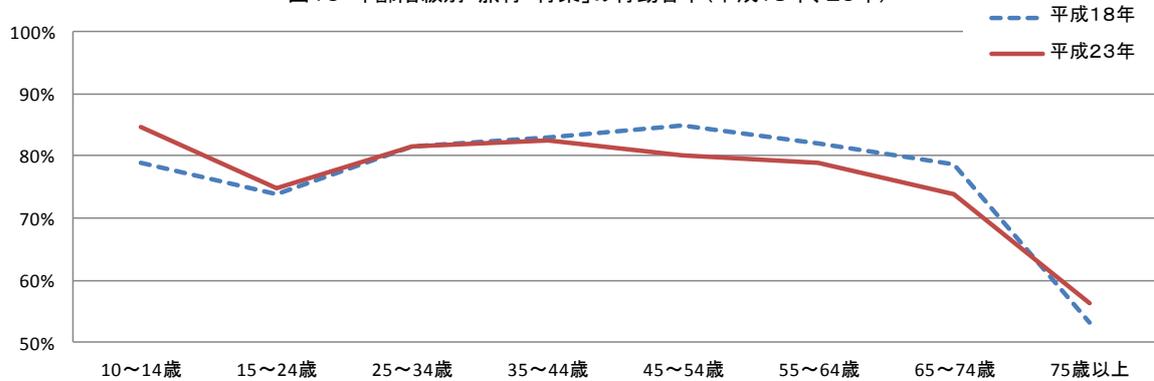


5 旅行・行楽

○行動者数は 736 千人、行動者率は 76.1% (全国 73.2%)

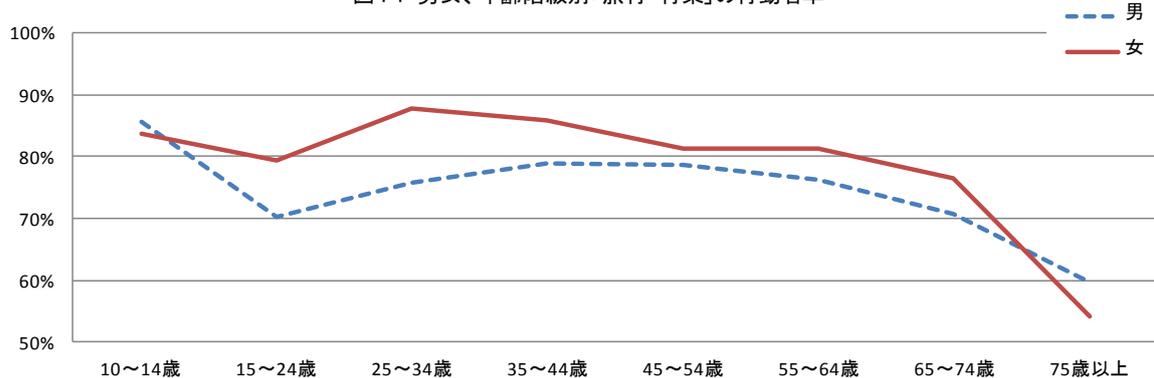
行動者率は、平成 18 年 (77.7%) と比較して、1.6 ポイント低下している。

図13 年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率(平成18年、23年)



○男女別に行動者率をみると、男性が 74.4%、女性が 77.6% (全国は男性 71.1%、女性 75.3%) となっており、15 歳以上 75 歳未満で、女性の方が男性より高くなっている。

図14 男女、年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率



○種類別に行動者率をみると、「行楽(日帰り)」が 62.9%、「観光旅行」では国内が 51.5%、海外が 4.4% などとなっている。

これを男女別にみると、「行楽(日帰り)」、国内及び海外の「観光旅行」で女性の方が高くなっている。

図15 男女、「旅行・行楽」の種類別行動者率

